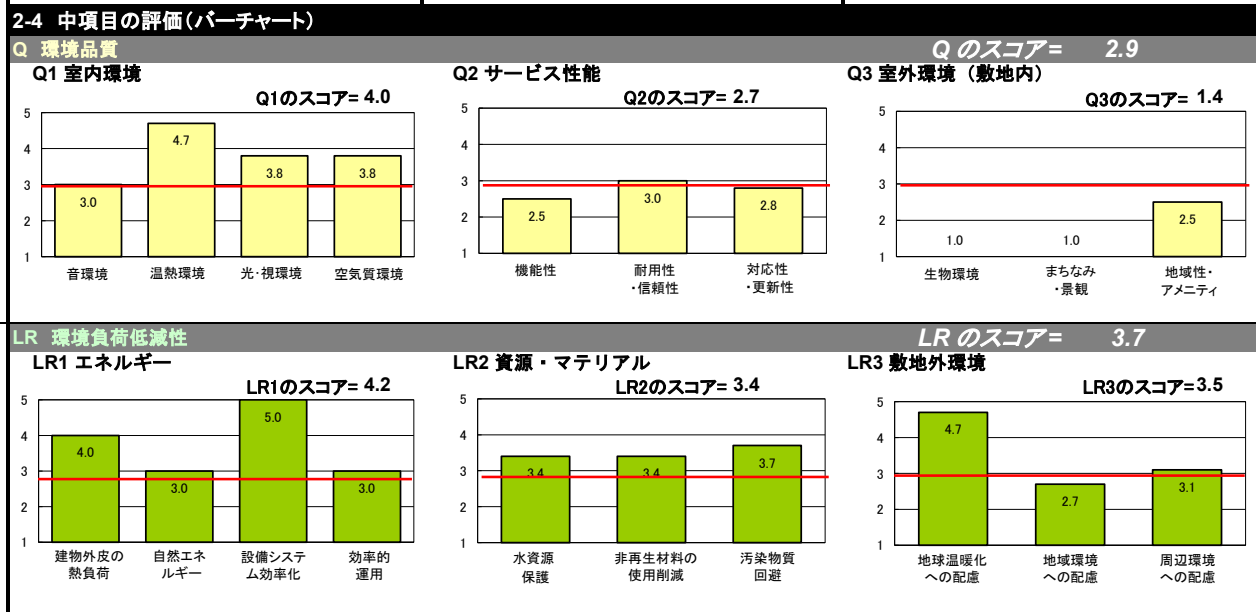


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	県営横内団地公営住宅新築工事(2期-建築-第4工区)		階数	5階
建設地	平塚市横内字大西3130番2の一部		構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域		平均居住人員	92 人
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年11月 予定		評価の実施日	2026年1月16日
敷地面積	1,693 m ²		作成者	株式会社日生建築計画研究所
建築面積	474 m ²		確認日	2026年1月30日
延床面積	2,007 m ²		確認者	株式会社日生建築計画研究所

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
神奈川県平塚市に建設される公営住宅団地である。住宅性能評価で断熱等性能5相当、一次エネルギー消費量ZEH-M Oriented水準を取得する計画とし、省エネルギーに配慮している。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆の内装建材を採用するなど、化学汚染物質の発生を抑制し、室内空気環境の改善に配慮している。	耐用年数の長い内装仕上げ材や空調・給排水配管を採用して、永くより良い状態で建築物を使い続けられ機能的側面に寄与する。	-
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
性能表示「5-1断熱等性能等級」における等級5相当以上である。	ODP=0、GWP=10未満の発泡剤を用いたPPFの断熱材を使用して、フロンガスの発生を抑制し、環境負荷削減に向けた取組みに努めている。	広告物照明を行っていないことにより、光害抑制となっている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される